

## 令和4年度第2回

### 武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日 時：令和4年7月29日（金）

午後2時から

場 所：武蔵村山市役所3階

301会議室

	内 容
報 告	○ 所管課職員の出席について
議 題	1 令和3年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について 2 その他

※ 資料は、第1回の資料を引き続き使用します。



## 議題 1 令和3年度末におけるまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について

---

- 別添資料1「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和3年度)【概要】」及び別添資料2「第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書(令和3年度)」参照



第1回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会における質問及び回答

No.	実績報告ページ	事業名称等	所管課	質問事項等	回答
4	7	新規就農者について	産業観光課	「農地を守り食料自給率を高めるため、新規就農者の育成については、個人だけではなく法人の就農を推進する必要があると考えるが市の認識は。」という質問に対して、「農業法人の参入については、現時点では推進する必要性はないと考えている。」との回答だが、本当に個人だけで大丈夫か疑問である。今後の武蔵村山市の農業に対する認識を教えていただきたい。	今後新規就農者や認定農業者など地域の担い手の状況や農地の所有者の意向等も踏まえながら、農業法人の参入の推進についても考えていくべきと認識しております。
5	4	空き店舗活性化事業への支援	産業観光課	実績値が0事業のままだが、令和6年度に2事業になる見込みはあるのか。 空き店舗があると、まち自体が寂しく見えてしまう。それが問題になっていてこの事業を進めなければならないという状況であれば0事業ではまずいのではないかと思ったが、どこに空き店舗があるかわからない程度の件数であればそこまで問題でもないと思われる。そのあたりはどのようにしているか。	来年度の事業実施に向け、現在事業内容を検討している。 【検討中の事業例】 ①市内空き店舗情報の収集・発信 ②商店会内の空き店舗を活用した際の補助金交付 など

第二期

まち・ひと・しごと創生総合戦略

実績報告書（令和3年度）



## 目次

基本目標 1	まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる	1
(1)	戦略的な情報発信	1
(2)	創業を希望している市民への支援	3
(3)	産業の振興と雇用の促進	4
(4)	時代のニーズに対応する農業の創造	7
(5)	個性豊かな観光施策の推進	10
(6)	利便性の高い公共交通網の形成	14
(7)	にぎわいと活力ある魅力的なみち・まちづくり	15
基本目標 2	若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える	16
(1)	結婚・妊娠・子育てへの支援	17
(2)	子育てしやすいまちづくり	21
(3)	子どもの知力・体力の向上	25
(4)	教育環境の整備	27
基本目標 3	誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる	28
(1)	交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり	29
(2)	安心して暮らせるまちづくり	30
(3)	健康でいきいきと暮らせるまちづくり	32
参考資料		
(1)	第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧	41

### 【留意事項】

#### <指標について>

KPI：Key Performance Indicator の略称。客観的な重要業績評価指標のことです。  
CSF：Critical Success Factor の略称。主要要因と認識され、目標達成に大きく影響する事業のことです。

#### <指標の評価について>

- 現況値（平成 30 年度実績）と当該年度の実績を比較しています。
- 評価については、以下の4段階で実施しています。
  - ① ◎：目標値達成
  - ② ○：現況値超目標値未滿
  - ③ △：現況値以下
  - ④ -：数値が判明していない

#### <再掲事業について>

- 総合戦略内で【再掲】と記載されている事業については、省略しています。



## 基本目標 1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる

### 数値目標

指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
市外からの平日の滞在人口	16,660 人	13,453 人	17,493 人	△
市外からの休日の滞在人口	16,951 人	13,149 人	17,799 人	△

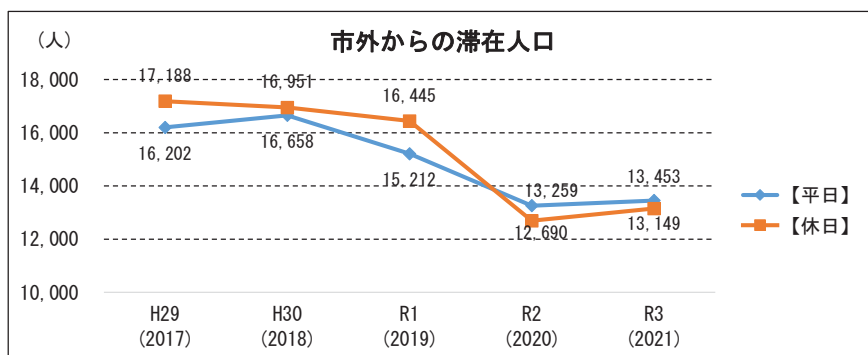
※ 14 時時点の平均値

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症の影響や感染防止対策により、人の流れが抑制されているため、市外からの滞在人口は低迷している。  
今後も、国や東京都の新型コロナウイルス感染症対策に大きく左右される可能性が高い。

#### 課題を踏まえた令和 4 年度以降の主な取組等

人の流れを抑制するための国や東京都の新型コロナウイルス感染症対策は、緩和されつつある。  
引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、人を呼び込む市の施策の実施を進める。



※ 2021 年の数値は 1 月から 6 月までの平均値

### 具体的施策

#### (1) 戦略的な情報発信

##### <重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	市ホームページアクセス数 (トップページ)	276,230 件/年	779,985 件/年	500,000 件/年	◎

#### 施策の概要

「担当課だけでなく全庁で取り組む広報」、「情報を分かりやすく発信する広報」、「必要とする人が見つけやすい広報」という広報戦略の 3 つの柱に基づき、市の魅力を効果的に周知する。

#### 令和 3 年度の主な取組内容・実績

○市からの情報発信を迅速に行うため、各関係部署と連携した情報発信の実施  
○わかりやすい情報発信のための庁内研修を実施

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症の影響により行政ホームページへの関心が高まっているので、より一層分かりやすい情報発信に努める。

#### 課題を踏まえた令和 4 年度以降の主な取組等

引き続き広報戦略に基づいた取組を推進するとともに、広報戦略に記載のある取組について、各課に周知を図り、より効果的な広報を目指す。

## <主な事業とCSF>

①	事業名：市ホームページ情報の充実	事業課：秘書広報課
<b>事業の概要</b>		
<p>重要な情報発信媒体である市ホームページについて、より一層アクセシビリティに配慮するとともに、トップページから利用者が求める情報にたどり着きやすくなるよう情報を整理し、トップページのカラーセルバナー等で発信する情報を充実させる。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○新型コロナウイルス感染症の影響で各種支援策や緊急事態宣言のお知らせ等を充実 そのため、イベント情報ではなく、現在の状況や支援策の紹介が短時間で複数掲載された。 ○一度に大量アクセスがあった場合に備えてCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)を導入</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
引き続き、分かりやすい情報発信を心掛け、カラーセルバナーの更新を行っていく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和4年度以降も、新型コロナウイルス感染症の影響が考えられるため、各種支援策やイベント情報などを発信するために、各部署と連携を取って情報発信を行う。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	カラーセルバナーに掲載するページ数	18 ページ	37 ページ	30 ページ	◎

②	事業名：SNS等による広報手段の充実	事業課：秘書広報課
<b>事業の概要</b>		
<p>市政情報の効果的な周知を図るため、引き続きソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用し、定期発信の情報ではなく、リアルタイムの情報発信に努める。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○SNSを活用した情報発信 ○新型コロナウイルスワクチンに関する情報を多く発信したため、市民の関心も高くリツイート数も伸びた。</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
引き続き市民が関心ある情報を発信し、広報活動に努める。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
今後もきめ細やかな情報発信に努め、市の投稿を増やし、「リツイート」や「いいね！」を獲得できるよう努めていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数	409 回/年	149 回/年	600 回/年	△
CSF	市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	2,832 件/年	1,200 件/年	◎
CSF	市公式フェイスブック「いいね！」件数	817 件/年	960 件/年	1,200 件/年	○

## (2) 創業を希望している市民への支援

### <重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	創業支援制度を利用した創業者数	2人/年	5人/年	21人/年	○

#### 施策の概要

創業支援等事業計画に基づく特定創業支援等事業（創業塾、創業セミナー、創業交流会及び個別相談）を実施し、市内での創業を希望する者の支援を行う。

#### 令和3年度の主な取組内容・実績

- むらやま創業塾「ゆめ」：参加者5人（全5回）
- むらやま創業セミナー「みらい」：参加者延べ13人（全4回）
- むらやま創業者交流会：参加者5人（全1回）
- 個別相談：参加者延べ15人

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

市内の創業希望者や創業に興味のある方の更なる発掘方法の検討。

#### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

- 参加者数等を鑑み、以下のとおり事業内容を変更する。
- ①セミナー開催回数を4回から1回に減
  - ②創業者交流会は実施しない
  - ③市内創業者を対象とした補助金の創設

## <主な事業とCSF>

①	事業名：ウィメンズチャレンジプロジェクト	事業課：協働推進課
<b>事業の概要</b>		
働きたい女性の自分らしい働き方へのチャレンジについて、総合的に支援を行うことを目的として、セミナー等を開催し、女性の活躍の機運を高める。 また、地域で活躍する女性のネットワークを構築し、企業、地域及び社会への女性の参画を促進する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○「ゆーあいフェスタ」の開催：302人参加 運営委員会を立ち上げ、作家自身による企画・運営での開催。 ○「女性のためのチャレンジ相談会」の開催：8人参加（12回開催）		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
会場内の人数制限等のコロナ対策をしながらも、対面によるイベントを開催することができた。 企画・運営からイベントに携わることにより、多方面から女性の起業支援を継続して実施できることが判明した。今後は参加人数を増やすための方策等を検討していく必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
引き続き起業支援、相談会や講座等による再就職支援を行っていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	セミナー参加者数	705人/年	346人/年	750人/年	△

②	事業名：空き店舗活性化事業への支援	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
商店会活動への支援及び地域経済の活性化のため、空き店舗等を活用した事業の推進を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
〇商店会に対して、空き店舗を活用した東京都の補助制度を案内		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
都補助事業については、期限付きであることから、利用する商店会はない。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
商店会との情報交換会を開催し、空き店舗等を活用した事業内容を検討する。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	空き店舗を活用した事業数	0事業	0事業	2事業	△

### (3) 産業の振興と雇用の促進

#### <重要業績評価指標（K P I）>

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
K P I	企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	0人	0人	10人	△

<b>施策の概要</b>					
地域産業の振興及び市民の雇用機会の拡大などを図るため、企業誘致条例に基づき、市内の工業地域に事業所を新設又は増設した企業等に対し、奨励金を交付する。					
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>					
〇企業誘致奨励交付金の交付：1件 〇新規指定企業：1件					
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>					
移転希望のある市外事業所への広報の方法。					
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>					
令和4年度末をもって企業誘致条例が失効するため、企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大も含め、令和4年度中に条例改正を行う。					

<主な事業とCSF>

①	事業名：産業振興ビジョンの策定	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
市内全体の産業振興や近隣自治体と連携した振興策、市内事業者の市外への流出抑止策等の検討を行った上で、それらを計画的に進めるため、産業振興ビジョンを策定する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○武蔵村山市産業振興ビジョン（計画期間：令和4年～令和13年度）を策定</li> <li>○武蔵村山市産業振興ビジョン策定委員会（市職員で構成）：4回開催</li> <li>○武蔵村山市産業振興ビジョン策定懇談会（学識経験者、商工業関係者等で構成）：2回開催</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
産業振興ビジョンに掲げる将来像「市民と事業者が絆をつむぐ にぎわいのあるまち むさしむらやま」の実現に向け、各種施策を実施していく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
庁内委員会を発足させ、各種施策の実施状況を評価・検証する。		

KPI	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	産業振興ビジョンの策定	未策定	策定	策定	◎

②	事業名：企業誘致制度の拡充（新青梅街道沿道）	事業課：産業観光課、都市計画課
<b>事業の概要</b>		
拡幅整備が進行中の新青梅街道沿道への企業誘致制度の拡充について、対象地域の都市計画を踏まえながら検討を進める。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「武蔵村山市産業振興ビジョン」の策定の中で、策定委員会及び策定懇談会の各委員より意見をいただき、検討を実施</li> <li>○「武蔵村山市産業振興ビジョン」に企業誘致制度の拡充検討に関する文言を明記</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
都市計画との整合性を踏まえた、対象地域及び対象業種の拡大範囲の決定		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
企業誘致の対象業種及び対象地域の拡大に向け、都市計画を踏まえつつ、令和4年度中に条例改正を行う。		

KPI	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	企業誘致制度の対象拡大	検討	検討	検討終了	△

③	事業名：工業地域における道路整備の推進	事業課：産業観光課、都市計画課、道路下水道課
<b>事業の概要</b>		
地域経済の活性化と市民の雇用機会の拡大を図るため、伊奈平地区の工業地域の基盤整備を推進し、企業誘致の促進を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「武蔵村山市産業振興ビジョン」の策定の中で、策定委員会及び策定懇談会の各委員より意見をいただき、検討を実施</li> <li>○「武蔵村山市産業振興ビジョン」に工業地域の企業誘致に関する文言を明記</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
令和4年度中に条例改正を行い、令和5年度以降も引き続き、工業地域の企業誘致に努める。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和4年度中に条例改正を行い、令和5年度以降も引き続き、工業地域の企業誘致を図る。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の推進	未実施	検討	検討	◎

④	事業名：地域ブランド認証事業	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
本市の地域ブランドとして、市内の魅力ある商品等を認証し、広く他の地域に発信するとともに、地域ブランドに誰もがわかりやすいコンセプトを持たせ、より明確なイメージ作りを推進し、本市の活性化と魅力の向上を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○制度及び認証商品について、ホームページや市報等を活用し広報活動を実施		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
認証ブランドになったことによるメリットが少ないため、認証されたことによる優位性等を明確にする必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
制度のPRを強化していくほか、認証店同士のコラボレーション商品等について、推奨していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	ブランド認証商品数	11品目	10品目	15品目	△

⑤	事業名：村山大島紬の振興	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
伝統的工芸品産業である村山大島紬の周知に努めるとともに、村山織物協同組合が行う宣伝活動事業や後継者育成への取組について支援を行い、少数化した生産業者への直接支援について検討を行う。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付 ○ホームページにて、村山大島紬について周知		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
コロナ禍において、より効果的な宣伝活動の方法を検討する必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
引き続き織物協同組合が行う宣伝事業に対し補助金を交付するとともに、ホームページ等で村山大島紬について周知を行う。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	体験イベントへの参加者数 及び見学者数	251 人	32 人	300 人	△

#### (4) 時代のニーズに対応する農業の創造

##### <重要業績評価指標（K P I）>

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
K P I	新規就農者数の累計	1 人	3 人	6 人	○

<b>施策の概要</b>					
農業の新たな担い手を確保するとともに、農業に新規参入する農業者へ様々な支援を行うことにより、安定した農業経営と農業への定着を図る。					
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>					
○青年等就農計画の認定：1件 ※新規就農者は1名増加したが1名減少したため、KPIの数値は令和2年度と同数となる。 ○青年等就農計画の作成に関する相談や認定手続きを実施					
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>					
新規就農を希望する者は、1年以上の農業研修を経ないと就農できないため、東京都農林水産振興財団や東京都農業会議の就農相談を受け就農するケースがほとんどである。このため、市として新規就農者を増やしていくためには、独自の研修機関を設けるなどの措置が必要である。					
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>					
令和4年度に新規就農を希望している者について、東京都農業会議の支援会議の動向をとらえながら、年度内に青年等就農計画の認定を行う。また、国の新規就農者育成総合支援事業を活用するため、なるべく早い段階で認定を行っていく。					

## <主な事業とCSF>

①	事業名：認定農業者数	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
<p>農業の中心的な担い手となる認定農業者について、メリットを明確にし、農業委員会や各種関係団体を通して制度の普及を推進することにより、認定農業者の拡充を図るとともに、認定農業者の経営改善計画の達成に向け、農産物の増産や施設整備等に対する支援を行う。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○農業経営改善計画に係る個別相談会：新規認定申請者2名（うち1名が広域認定申請者）、更新認定申請者3名（うち1名が広域認定申請者）          ○農業経営改善計画の認定：新規認定農業者2名（うち1名が広域認定農業者）、更新認定農業者3名（うち1名が広域認定農業者）</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>近年、認定農業者自身の高齢化や機械、資材等の必要経費の増大に伴い、更新を断念する認定農業者が増えつつある。今後は、認定農業者に準ずる農業者に対し、制度の周知や理解を求めていく方策を検討することが課題である。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>農業経営改善計画に係る個別相談会の実施や農業経営改善計画の認定を進めていく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	認定農業者数	39 経営体	40 経営体	45 経営体	○

②	事業名：観光農園の充実	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
<p>みかん狩り等を行うことができる観光農園について、広報紙やホームページを活用した情報発信を行うとともに、「観光農園からかたくりの湯へ」といった観光案内もあわせて発信することにより、近郊からの来訪者の増加を図る。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○みかん狩りのPRを実施（ホームページや案内チラシの配布等）</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>今後もホームページ、SNS等を活用した観光農園のPRを図っていく。          また、農業振興計画の推進にあたり、かたくりの湯と連携を図りながら、観光農園を結ぶフルツロードの設定を検討する必要がある。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>引き続き、市のホームページやSNSを活用した情報発信や情報コーナー、観光協会等でのチラシ等の配布など、みかん狩りのPRを行っていく。          また、観光農園ルートの設定について検討する。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	観光農園数	10 か所	10 か所	11 か所	△



③	事業名：体験型市民農園の開設	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
市民が農業にふれあう機会の創出と良好な都市農地の保全を図るため、農作業の未経験な市民でも気軽に農業体験ができるよう、農園主が自ら農作業の指導を行う体験型市民農園の拡充を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○前年度に抽出した農地の所有者3名に対し、開設に向けた説明と理解を求めたが、いずれも交渉成立に至らなかった。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
体験型市民農園では所有者が自ら農業指導を行わなければならないことから、体調を考慮して辞退する農業者が増えているため、農業指導者を所有者以外に求めることも視野に入れながら、交渉を継続していく必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
今後、農業後継者がいる所有者を中心に交渉の対象者を拡大し、引き続き農業者に理解を求め、なるべく早い時期に開設ができるようにする。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	体験型市民農園数	2か所	2か所	3か所	△

④	事業名：援農ボランティア制度	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
農作業を通じて市民が農業にふれあう機会を創出するため、また、人手が不足している農業者を支援するため、援農ボランティア制度により農作業の効率化を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○援農ボランティア制度登録：3名 ○農業者へ派遣：3名		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
ボランティア登録者の高齢化が進んでおり、体調を崩して活動休止中や辞退する者が出ており、それを補う新たな派遣が困難な状況である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
援農ボランティア制度に関しては、第三次農業振興計画の推進における重点施策となっており、プロジェクト会議の中で今後の取組について検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	援農ボランティアの登録者数	13人	14人	25人	○

## (5) 個性豊かな観光施策の推進

### <重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	158,958人/年	90,621人/年	203,000人/年	△

#### 施策の概要

温泉資源を活用することにより、市民の健康を維持増進するとともに、多世代間の交流を促進し、併せて観光の振興を図り、もっていきいきとした地域社会の形成に資する。

#### 令和3年度の主な取組内容・実績

- 新型コロナウイルス感染症の影響により休館（令和3年4月25日～6月6日、6月12日、13日、19日、20日）
- 新型コロナウイルス感染症対策をした上で、時短営業で開館（プール施設の脱水機の使用禁止、サウナの使用禁止、ロッカーの間引き使用等の対策など）

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から東京都のまん延防止等重点措置や国の緊急事態宣言により時短営業や休館しなければならない状況であった。

#### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

令和4年度に現指定管理者の指定管理期間が最終年度となり、令和5年度に大規模改修を行い、運営を継続する方向で検討中。

### <主な事業とCSF>

①	事業名：村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
村山温泉「かたくりの湯」を核とする狭山丘陵を散策し、温泉につかり、地元産の食材を使った食事を楽しみながら交流を図れるような観光ルートを設定する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○既存の観光ルートのPR		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
市民や市外からの来訪者が楽しめるガイドマップ（武蔵村山市ぶらりガイド、ウォーキングマップ等）を活用しながら新たな魅力ある観光箇所の発掘に努める。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
狭山丘陵観光連携事業による活動や観光まちづくり協会と連携したルートを検討していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	観光ルート（広域含む）の設定	未設定	2ルート	5ルート	○

②	事業名：観光マップの作成	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
<p>当市に来訪する外国人向けに多言語化した観光マップを作成し、外国人にも当市の魅力を発信する。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>観光マップの作成・多言語化は出来なかった。</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から海外からの観光客について活動が行えない状況であった。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>観光まちづくり協会と連携し、既存の観光マップをバージョンアップさせながら、外国人にも魅力的な観光マップの作成について検討する。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	観光マップの多言語化	未実施	検討	実施	○

③	事業名：武蔵村山魅力マイスターの活動	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
<p>観光資源の効果的な周知を図るため、「武蔵村山魅力マイスター」（本市の魅力を伝える技をもつ匠や伝承する力をもつ人）による体験の提供機会を増やし、「武蔵村山魅力教え隊」の活用とあわせて活動の促進を図る。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○武蔵村山観光まちづくり協会へ事務移管 ○武蔵村山観光まちづくり協会と連携した広報活動などを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>村山うどんの会会員登録が個人から会としての登録となったため、マイスターの人数が減少している。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>武蔵村山観光まちづくり協会と協力しながら、マイスターの登録者数の増を目指す。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	登録人数	25人	17人	35人	△

④	事業名：ロケーションサービス	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
本市の魅力を広く発信することによって多くの人に訪れてもらうために、「武蔵村山観光まちづくり協会」により、映画等の撮影場所の誘致や撮影支援を行うロケーションサービスを実施する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
〇公共施設の貸出等が円滑に行えるよう調整を実施		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
ロケーションサービス事業の制作者への認知及び撮影可能場所やエキストラ等の登録増が課題である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
観光まちづくり協会によるエキストラ登録会関係や市内外に向けたロケーションサービスの周知を行っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	受入件数	未実施	11件	50件	○

⑤	事業名：文化財の観光資源としての活用	事業課：文化振興課
<b>事業の概要</b>		
歴史のある神社仏閣などの文化財を観光資源として活用するため、引き続き、文化財を巡る歴史の散策コース周知に努めるとともに、市民参加型でのテーマ別のコース設定などの検討を行い、市内への来訪者の増加を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇既存の東・西コースを再編（東3コース、西2コース）</li> <li>〇南西・南東コースを新設</li> <li>〇南西・南東コースの案内標柱の設置を完了</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
引き続き、歴史散策コースに係る案内標柱の維持管理を行うと共にガイドマップ「むさしむらやま歴史散策コース」の頒布や各種事業を通じて歴史散策コースの周知を図っていく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
ガイドマップ「むさしむらやま歴史散策コース」の頒布や各種事業を活用し、新たなコースを含めた歴史散策コースの周知等により文化財の保護と共に市内来訪者の増加を図っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	市民参加による歴史散策コースの設定	2コース	7コース	4コース	◎

⑥	事業名：市民まつり（村山デエダラまつり）の開催	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
市と市民の協働により実施する市民まつりを市と共に主催する武蔵村山市民まつり実行委員会に対し交付金を交付することにより、市民まつりの充実を図り、もって地域の活性化に資する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○武蔵村山市民まつり実行委員会に交付金を交付 （村山デエダラまつりは新型コロナウイルス感染症の影響で中止）</li> <li>○灯籠ネブタキットの作成・販売</li> <li>○村山デエダラまつり公式ホームページのリニューアル</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
令和3年度は会場での開催は延期となった。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和4年度から会場を変更することに伴い、会場が狭くなる。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行っての開催が続くことを考えると来場者数での効果測定は厳しいが、行政評価における適正規模での実施や農業まつりとの同時開催など様々な工夫をしながら達成を図りたい。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	来場者数	70,000 人/年	未開催	80,000 人/年	—

⑦	事業名：観光納涼花火大会の開催支援	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し観光納涼花火大会交付金を交付することにより、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、交付金の交付も行わなかった。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
現在の会場は目標を達成させるには手狭であり、目標を達成させるためには、目標値の観覧者を集客できる面積のある新会場が必要である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
武蔵村山市商工会が開催する観光納涼花火大会に対し今後も観光納涼花火大会交付金を交付し、その充実を図り、もって観光事業の振興に寄与していく。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策について、安全を確保しながらの開催方法についても検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	会場来場者数	14,000 人/年	未開催	15,000 人/年	—

## (6) 利便性の高い公共交通網の形成

### <重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員	5.61人/年	3.97人/年	6.11人/年	△

#### 施策の概要

公共交通の利便性向上の取組として、路線バスの充実について関係事業者に要請する。  
また、まちづくりの整備状況や利用者の声を勘案しながら、関係機関と連携し効率的な運行と利用促進を図る。

#### 令和3年度の主な取組内容・実績

○市内循環バスの見直し計画案を作成し、市民説明会及びパブリックコメントを実施  
○地域公共交通会議での検討等を行い、見直し計画を策定

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、市内循環バスの利用者数が減少し、目標値を下回った。  
一部ルートにおいて大きく低迷する1便当たりの利用者数の改善等が目標達成への課題となる。

#### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

一部ルートにおいて大きく低迷する1便当たりの利用者数の改善のため、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルートを廃止し、上北台及び玉川上水ルートのみで運行を行う。  
なお、廃止した地域を対象として、乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大する。

### <主な事業とCSF>

①	事業名：多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業課：交通企画・モノレール推進課
<b>事業の概要</b>		
多摩都市モノレールの市内延伸の早期実現に向けて、東大和市及び瑞穂町と共同で策定した「モノレール沿線まちづくり構想」を踏まえたまちづくりを推進するとともに、市と市民が連携した促進活動や東京都などの関係機関への要望活動を行う。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○要望活動の実施（多摩地域都市モノレール等建設促進協議会）</li> <li>○多摩都市モノレール基金積立及び募金活動</li> <li>○PR推進事業（モノレール関連物品作製・販売等、キャッチフレーズの公募、懸垂幕作製）</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
延伸の事業化に当たっては、事業採算性の確保が重要であり、モノレールの利用需要の創出につながるまちづくりのより一層の推進が必要となる。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
東京都と連携を取りながら、引き続き、モノレール延伸の機運醸成のための取組を行っていくとともに、モノレールのまちづくりのあり方を検討していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	事業の推進	推進	推進	推進	○

(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	90%	100%	100%	◎

施策の概要	
<p>将来の商業核の形成を誘導するべく、住工の混在をできるだけ解消し、良好な住宅地の形成と魅力あるまちの実現を目指して、都市核地区土地区画整理事業を推進しており、事業区域内の多摩都市モノレールの導入区間となる新青梅街道の拡幅用地確保を実施している。</p>	
令和3年度の主な取組内容・実績	
<p>○公共減歩により道路拡幅用地として確保済みであった、面積100㎡の整地を実施                      総面積：866㎡                      確保済み面積：866㎡</p>	
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）	
<p>新青梅街道拡幅用地の確保は完了したが、拡幅用地部に埋設管が敷設されており、撤去する必要がある。</p>	
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等	
<p>埋設管を撤去して権利者に返地を実施する。</p>	

<主な事業とCSF>

①	事業名：新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	事業課：都市計画課
事業の概要		
<p>新青梅街道沿道の特性に応じた計画的な土地利用の誘導を図るため、「新青梅街道沿道地区まちづくり計画」に基づき、拡幅整備の実施と合わせて、新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定を行う。</p>		
令和3年度の主な取組内容・実績		
<p>○用途地域等の変更及び地区計画の策定に伴い住民説明会等を実施（第2・第3工区）                      ○都市計画の変更及び決定を実施（第2・第3工区）</p>		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）		
<p>今後、第2ステップ（多摩都市モノレールの都市計画決定を見据えた、沿道及び新駅周辺の用途地域や地区計画の変更によるまちづくりの誘導）について調査検討を進めていく必要がある。</p>		
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等		
<p>今後、多摩都市モノレールの都市計画決定を見据え、新駅周辺及び多摩都市モノレール沿道のまちづくりについて調査検討を進めていく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	新青梅街道沿道地区における地区計画の策定件数	1件	4件	4件	◎

②	事業名：立川都市計画道路3・4・39号 線整備事業	事業課：都市計画課
<b>事業の概要</b>		
三本複交差点の南側約400mの間は、休日を中心に慢性的な渋滞が生じており、今後、土地 区画整理事業の進捗などにより、交通量の増加が見込まれていることから、既存道路を拡幅整備 し、交通の円滑化や歩行者等の安全性の向上を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○電線共同溝予備設計業務、関係機関協議資料を作成し事業認可申請を行った		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
令和4年度に事業認可取得後、用地取得等を円滑に進め、令和6年度の工事着手を達成する必 要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
事業認可取得後、速やかに用地説明会を実施するとともに、不動産鑑定評価委託及び物件調査 及び補償算定業務を行う。翌年度以降の用地取得に向けた準備に万全を期す。合わせて、道路詳 細設計等の業務を進める。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	拡幅整備	推進	推進	工事着工	○

## 基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

### 数値目標

指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
合計特殊出生率	1.55	1.37(※)	1.60	△

※ 合計特殊出生率については、例年、冬頃、区市町村別の数値が公表される。  
そのため、実績値は前年の数値である。

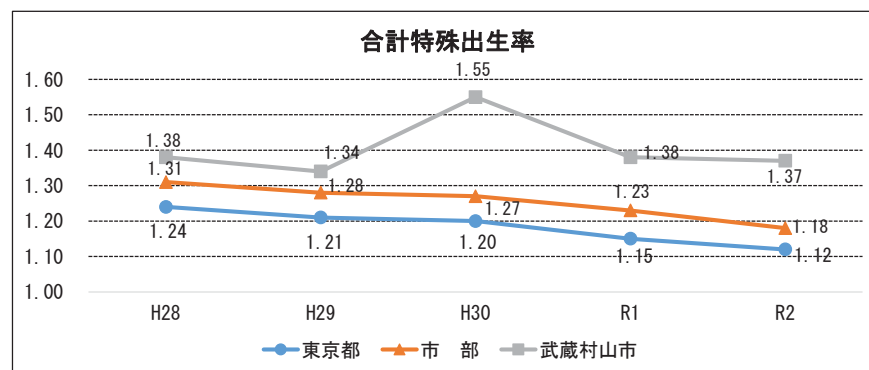
指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
「武蔵村山市は安心して子どもを産み育 てることができるまちだと思ふ」人の割合	72.1%	調査未実施	80%以上	—

### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

子育てで家庭の支援や母子の健康の確保と増進、教育環境の整備など、複合的に環境を整備して  
いく必要がある。

### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

子育てで家庭の支援や母子の健康の確保と増進など、第二期子ども・子育て支援事業計画に基づ  
き、事業を推進していく。





具体的施策

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	認可保育所の入所待機児童数	39人	18人	0人	○

施策の概要

保育所の建て替え・改修時期等に合わせた保育所の定員枠の拡大や保育所定員の弾力的な運用を推進するとともに、保育士資格取得に係る費用の補助や保育士宿舍借上補助など保育士の確保対策を行い、認可保育所の入所待機児童の解消を図る。

令和3年度の主な取組内容・実績

- 保育所に弾力的な運用による受入れ態勢の確保を要請
- 定員枠の拡大などを図るため、施設移転等を行う民間保育所へ施設整備費を助成：1施設
- 保育士を確保するため、保育士の処遇改善や宿舍借上補助を実施

目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

令和4年4月の待機児童は0人となり、目標を達成できる見込みであるが、令和5年度以降においても待機児童数0人を継続できるよう、一層の保育士の確保・定着を図る必要がある。

課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

国の補助制度を活用した処遇改善などにより一層の保育士確保に努めていく。また入所が保留となった方に対して、より丁寧な保育所の空き情報の提供等に努めていく。

<主な事業とCSF>

①	事業名：地域型保育事業	事業課：子ども青少年課
<b>事業の概要</b>		
<p>少人数の単位での保育事業を可能とする地域型保育事業（3歳未満児を対象とする小規模保育・家庭的保育・事業所内保育及び居宅訪問型保育事業）の活用について、検討を行い、事業実施を目指す。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○育成会ひまわり保育園が新園舎へ移転し、定員を100人から104人に増員 ○育成会ひまわり保育園旧園舎を活用した小規模保育事業所「大南つぼみ保育園」の設置認可</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>令和4年4月に開所し、当月の入所者数は定員18人（0歳～2歳各6人）に対して4人（0歳2人、1歳2人）となった。今後は、小規模保育事業所「大南つぼみ保育園」の周知を積極的に図り、入所児童数の確保に努めたい。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>入所が保留となった方に対して、より丁寧な該当施設を含めた保育所の空き情報の提供等に努めていく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	実施事業所数	未実施	準備中	1か所	○

②	事業名：延長保育の充実	事業課：子ども青少年課
<b>事業の概要</b>		
保育所において、通常の利用時間以外の時間に保育を実施する延長保育について、充実を図り、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○保育所 11 か所で実施		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
法人の子育てに対する理念（地域、家庭、保育所で育てる）に基づく未実施の保育所（2か所）がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
特に2時間の延長保育事業については、コロナ禍では利用者の減少も見られることから、今後の状況により、延長保育事業の在り方について検討する必要がある。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	延長保育の実施保育所数	11 か所	11 か所	13 か所	△

③	事業名：休日保育事業	事業課：子ども青少年課
<b>事業の概要</b>		
保護者の就労等により、日曜日や祝日の日中に家庭での保育に欠ける場合、保育を実施することにより、多様な子育て支援サービスの提供体制を整備する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○コロナ禍のため、利用者は少ないが多様な子育て支援サービスの提供体制ができています。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
現在、休日保育の需要は少ないが、いつでも利用できるような環境を法人の協力のもと整えている。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
休日保育の需要を少しでも補えるよう「みらい保育園休日保育実施要項」の見直しも視野に入れ検討していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	休日保育の実施保育所数 (日曜日・祝日の保育)	未実施	1 か所	1 か所	◎

④	事業名：病児保育事業	事業課：子ども子育て支援課
<b>事業の概要</b>		
<p>病中又は病気の回復期にあって保育を受けることが困難な期間にある児童を一時的に預かり、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育てを支援する。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>〇感染症対策を行い、平時と同様の利用形態を維持</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止に留意しつつ病児保育の周知に努め、児童の健全な育成及び資質の向上と、保護者の子育て支援を図る。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>引き続き、病児保育の周知に努める。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	延べ利用者数	234 件/年	311 件/年	550 件/年	○

⑤	事業名：子育て世代包括支援センター（ハグはぐ・むらやま）	事業課：子ども子育て支援課
<b>事業の概要</b>		
<p>母子健康手帳交付時に、保健師が全ての妊婦の面接を実施し、妊婦の実情を把握した上で、要支援者に対しては支援プランを作成する。また、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>〇妊娠期からの様々なニーズに対する総合的な相談支援を提供するため、ワンストップ拠点としての子育て世代包括支援センターの運営</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>今後とも面談率100%を維持するとともに、妊娠期からの様々なニーズに応えるため、子育て世代包括支援センターの周知に努める。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>面談率100%を維持するとともに、子育て世代包括支援センターについて、広く周知を図っていく。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率	100%	100%	100%	◎

⑥	事業名：予防接種情報システムの運用	事業課：健康推進課
<b>事業の概要</b>		
乳幼児が安全かつ確実に予防接種を接種できるよう、予防接種スケジュールを自動的に作成し、お知らせする予防接種情報システムを運用する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○「子ども・子育て応援ナビ（アプリ）」の周知 チラシ配布（母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問、3～4か月健診） 初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際にチラシを同封		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
導入から複数年が経過し全体の登録者数は増加している。 令和2年度にモバイルからアプリへ変更となり利便性は増したと考えるので、改めて周知方法を子ども子育て支援課と調整を図りながら検討していく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
母子健康手帳交付時、妊産婦・新生児訪問の際や初めて予防接種予診票（生後2か月対象）を送付する際に、案内チラシを同封し周知を図る。 また、お知らせページを活用し、情報発信に努める。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	登録者数	316 件/年	275 件/年	350 件/年	△

⑦	事業名：市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	事業課：協働推進課
<b>事業の概要</b>		
ワーク・ライフ・バランスに取り組む事業所をワーク・ライフ・バランス推進事業所として認定し、当該認定事業所又はその取組内容を広く紹介することにより、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○武蔵村山市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定要綱を制定 ○武蔵村山市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定：7事業所		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
市報や緑が丘ふれあいセンターが発行する情報誌「YOU★I」に、ワーク・ライフ・バランス推進事業所の記事の掲載等を行うことにより、市内にある事業所の意識醸成を図る必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和3年度に認定した事業所に協力いただき、「YOU★I」にワーク・ライフ・バランス推進事業所認定の記事を掲載し、市内の事業所に配布、PRしていく。 また、パンフレットを作成し、配布していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数	0 件	7 件	5 件	◎

⑧	事業名：市役所男性職員の育児休業取得率の向上	事業課：職員課
<b>事業の概要</b>		
市役所が率先して、ワーク・ライフ・バランス等の取組を推進し、男性職員の育児休業の取得促進を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新たに取得可能となった男性職員に対し、各種制度を紹介した冊子の配布・説明</li> <li>○育児休業の対象となる男性職員及びその所属長に対し、育児休業の提案及び個人の事情等に配慮した具体的な情報提供</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
目標を達成しているが、更なる取得率の向上に取り組む。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和3年度に引き続き、各種制度を紹介した冊子の配布・説明や育児休業の提案等を、継続して行う。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	取得率（5か年平均）	5.5%	36.6%	15.0%	◎

## (2) 子育てしやすいまちづくり

### <重要業績評価指標（K P I）>

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
K P I	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思う」就学前児童の保護者の割合	72.8%	調査未実施	77.8%	—

<b>施策の概要</b>	
結婚から出産、子育てまでの一貫した支援を行い、さらには子育てと仕事の両立を図ることで、子どもを産み育てやすいまちづくりを目指す。	
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>	
○第二期子ども・子育て事業支援計画掲載事業の推進	
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>	
子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進、教育環境の整備など、複合的に環境を整備していく必要がある。	
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>	
子育て家庭の支援や母子の健康の確保と増進など、第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、事業を推進していく。	

## <主な事業とCSF>

①	事業名：移動式赤ちゃんの駅の活用	事業課：子ども子育て支援課
<b>事業の概要</b>		
市内で開催されるイベント等に対し乳幼児のおむつ交換や授乳を行うための簡易設置型授乳室を貸し出すことにより、乳幼児を抱える子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○イベント時の貸出：1件		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
いまだ新型コロナウイルス感染流行下であり、イベント等の自粛が続いていたため、貸出事業実施件数の減となった。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
引き続き、感染状況を踏まえつつ、ホームページ等での周知を図り、子育て家庭が安心して外出できる環境づくりを促進し、子育て家庭の負担の軽減を図る。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	地域イベント等での活用	5件/年	1件/年	10件/年	△

②	事業名：児童館親子ひろば事業（絵本読み聞かせ・みんなであそぼう）	事業課：子ども青少年課（児童館）
<b>事業の概要</b>		
児童館の午前中の比較的利用者が少ない時間帯を利用し、乳幼児及びその保護者を対象に歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら交流や子育て相談できる居場所の提供を図る。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○歌遊びや絵本の読み聞かせなどを行いながら、交流や子育て相談ができる児童館親子ひろば事業を48回実施 (絵本読み聞かせ：26回、みんなであそぼう：22回)		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、内容の見直しなど工夫をしながら開催しているが、参加人数に影響が出ている。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
新型コロナウイルスの感染防止対策を十分講じた上で、参加人数の制限や行事内容の見直しなどの工夫をしながら開催する。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	絵本の読み聞かせ等実施回数及び参加者数	46回/年 1,037人/年	48回/年 1,002人/年	48回/年 1,200人/年	○

③	事業名：絵本読み聞かせ事業（図書館のおはなしの会）	事業課：図書館
<b>事業の概要</b>		
本に対する興味を育て、本に親しんでもらうとともに、保護者とお子さんが本を通じてコミュニケーションを図るきっかけづくりのため、絵本や紙芝居の読み聞かせのほか、手遊びなどを行っている。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○雷塚図書館6回、その他図書館19回（全5か所）開催（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期は10月から1月初頭まで）		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、開催場所や周知方法を検討する。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、国や東京都、他の自治体の状況を鑑み今後も市報及びホームページ等で開催の周知を行い、参加者の増加を図る。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	絵本の読み聞かせ実施回数 及び参加者数	114回/年 1,014人/年	25回/年 120人/年	120回/年 1,200人/年	△

④	事業名：放課後子供教室の充実	事業課：文化振興課
<b>事業の概要</b>		
放課後の余裕教室等を活用し、安全・安心な子供の居場所を設け、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進していく。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○市内小学校7校において、安全・安心な子供の居場所確保のため事業を実施 ○未開設校2校について、令和4年度からの開設に向け調整		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
未開設校2校については、令和4年9月からの新規開設を予定しているが、運営に必要なサポーターの確保が課題となっている。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
未開設校2校について、令和4年9月から新規開設できるよう調整を図っていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	放課後子供教室実施校数	7校	7校	9校	△

⑤	事業名：放課後子ども総合プラン事業の推進	事業課：文化振興課、子ども青少年課（児童館）
<b>事業の概要</b>		
共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、時代を担う人材を育成するため、全就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後子供教室及び学童クラブの計画的な整備等を進める。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
〇合計5校での実施を調整していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
一体型運営として準備のできていない学校は残り1校であるが、当該学校については放課後子供教室が未開設である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
一体型運営として準備のできていない学校について、令和4年9月から放課後子供教室の開設及び一体型運営が実施できるよう調整を図る。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	一体型の運営を行う学童クラブ及び放課後子供教室の設置数	4か所	5か所	5か所	◎

⑥	事業名：子どもの未来応援プランの策定及び推進	事業課：福祉総務課、子ども子育て支援課、関係各課
<b>事業の概要</b>		
全ての子どもたちとその家庭を見守り支援する「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」を策定し、子どもの貧困対策等を総合的に推進する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
〇令和4年2月、「武蔵村山市子どもの未来応援プラン」に掲出の支援制度に関する調査実施。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
子どもの未来応援プランに掲載した施策を推進していく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
次期計画策定に合わせて、関係各課との調整を図る。 令和3年度に実施した調査結果をホームページに公開し、支援制度の周知を行う。 連絡会の構成員に調査結果を周知し、見守り支援の一助とする。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	将来のゆめが「ある」と回答した児童・生徒の割合	小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	小5：80.0% 中2：62.0%	—



### (3) 子どもの知力・体力の向上

#### <重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	高校進学に際して第一志望校へ合格する割合	83.2%	92.2%	85.0%	◎

施策の概要	
<p>児童・生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせる基盤となる学習意欲の向上及び学習の規律の確立を図るため、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。</p>	
令和3年度の主な取組内容・実績	
<p>○小中一貫教育を全小・中学校で実施し、義務教育9年間を通した系統的なキャリア教育の充実</p>	
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）	
<p>年度によって生徒の実態も異なることから、継続的に目標値を達成できるようにすることが課題である。</p>	
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等	
<p>各中学校区及び各学校の実態に応じたキャリア教育の充実を図るため、進路指導主任会等で各学校の取組を情報交換するとともに、その方向性について検討していく。</p>	

### <主な事業とCSF>

①	事業名：市学力調査	事業課：教育指導課
事業の概要		
<p>児童・生徒の学力向上を図るために、市内全中学校第1学年を対象に学力調査を実施し、結果を分析する。 分析した検証結果については、学校における事業改善の具体的手立てへとつなげていく。</p>		
令和3年度の主な取組内容・実績		
<p>○国語・算数（小学校第6学年修了程度）の学力定着状況調査及び生活・学習意欲調査を実施 ○対象生徒687人（全中学校（5校））のうち675人参加、実施率98.3% ○総合正答率：国語61.5%、算数61.2%</p>		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）		
<p>分析結果から、例年生徒が苦手とする分野について把握できており、確実に身に付けるための反復学習が課題である。</p>		
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等		
<p>学力向上推進委員会において作成した個々の分析データや、タブレット端末を活用した反復学習の提案を実践する。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	中学校1年生の国語の平均正答率と全国平均正答率との相対比率	91.6%	92.9%	100%	○

②	事業名：英語検定	事業課：教育指導課
<b>事業の概要</b>		
<p>小中学校で培った英語力を測るという具体的な努力目標を持たせ、学習に対する意欲の向上と英語力の定着を図ることを目的に、中学校第3学年の希望生徒を対象として英語検定の受験に係る支援を行う。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○英語検定の費用に掛かる支援：266人		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>英語検定に挑戦する意欲の高まりも一つの成果であると認識しているが、その効果が合格率に反映しているとは言い難い。全体として生徒の英語力は高まっているが、数値に表れにくい状況となっている。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>引き続き英語検定委託事業を実施し、挑戦する意欲の向上を図る。 また、令和3年度は受験率が下がってしまったため、本事業の周知を今後も図り、受験率の向上を図る。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	中学校3年生の受験率	40.6%	37.9%	60.0%	△

③	事業名：東京都統一体力テスト	事業課：教育指導課
<b>事業の概要</b>		
<p>児童・生徒の体力・運動能力及び生活・運動習慣等の実態を把握・分析することにより、体力・運動能力等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。また、学校における児童・生徒の体力・運動能力等の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○市内全小・中学校で東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査を実施 ○実施率：小学校98.8%、中学校92.3% ○体力合計点の平均では、中学校男子が全学年で東京都の平均を上回った。</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>運動・スポーツの実施時間と体力合計点との関係を見ると、運動時間が多い児童・生徒ほど、体力テストの合計点も高い傾向にあるため、各学校の取組により体育・保健体育授業以外で運動実施時間を30分以上にすることができているかが課題である。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>体力向上推進委員会等で各学校の取組について情報交換をするとともに、体力テストの結果を分析し、取組に生かしていく。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	小学校5年生のシャトルランの平均値（回数）	男子49.2回 女子36.9回	男子38.7回 女子31.5回	男子51回 女子40回	△
C S F	中学校2年生の持久走（男子1,500m）、（女子1,000m）の平均値（秒数）	男子395.6秒 女子295.6秒	男子395.7秒 女子303.1秒	男子386秒 女子286秒	△

#### (4) 教育環境の整備

##### <重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	不登校児童・生徒への教育相談等支援率	75%	48.9%	80%	△

##### 施策の概要

教育相談室における相談の実施や全小中学校に配置されているスクールカウンセラーの活用など教育相談体制の充実を図るとともに、市内全小中学校で導入しているコミュニティ・スクールを活用した地域に開かれ、信頼される学校づくりなど教育環境の充実を図る。

##### 令和3年度の主な取組内容・実績

○スクールソーシャルワーカーの活用  
○スクールカウンセラーの活用  
○心理相談員と学習支援員による家庭訪問  
※KPIの数値は、不登校児童・生徒を教育指導課が所管する教育相談等で支援した割合であり、児童相談所、子ども家庭支援センター、医療機関等での支援は除いている。

##### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させることが課題である。

##### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが児童・生徒と保護者への対応を図っていくとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーについての周知を行い、学校と家庭の相互連携の強化を図る機会を創出していく。

#### <主な事業とCSF>

①	事業名：教育相談室事業・スクールソーシャルワーカー事業	事業課：教育指導課
<b>事業の概要</b>		
<p>学校だけでは解決しない小・中学生の不登校、暴力・非行行為等の解決を図るため、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー等が相談に応じるとともに、社会福祉の面から児童・生徒が置かれた環境へ働き掛けるなど関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○スクールソーシャルワーカーの活用 ○心理相談員と学習支援員による家庭訪問</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させることが課題である。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>学校と家庭間で連絡を取ることができない状況にある不登校児童・生徒について、スクールソーシャルワーカーが民生・児童委員等と連携を図り、児童・生徒と保護者への対応を図っていく。また、スクールソーシャルワーカーの啓発を実施し、相互連携の強化を図る機会を創出していく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 1.15%/年 中学校 6.27%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

②	事業名：スクールカウンセラーの設置	事業課：教育指導課
<b>事業の概要</b>		
いじめ、不登校等の未然防止、改善、解決、学校内の教育相談体制等の充実を図るため、各小中学校にスクールカウンセラーを配置し、不登校児童・生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指す。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○スクールカウンセラーの活用 ○心理相談員と学習支援員による家庭訪問		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
不登校の原因である学業不振や人間関係の課題を解決するための授業改善や特別支援教育の推進を図り、学校の不登校への意識を向上させることが課題である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
不登校や引きこもりの未然防止に向けた支援を行うため、スクールカウンセラーが心理の専門家の立場から、児童・生徒や保護者等からの相談に対応する。 第五中学校については、スクールカウンセラーを2名配置し、相談体制の強化を図る。		

K P I	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	不登校出現率	小学校 0.79%/年 中学校 5.05%/年	小学校 1.15%/年 中学校 6.27%/年	小学校 0.54%/年 中学校 3.24%/年	△

### 基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつくる

#### 数値目標

指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
これから本市に住み続けたいと思う人の割合	31.1%	調査未実施	36.1%	—

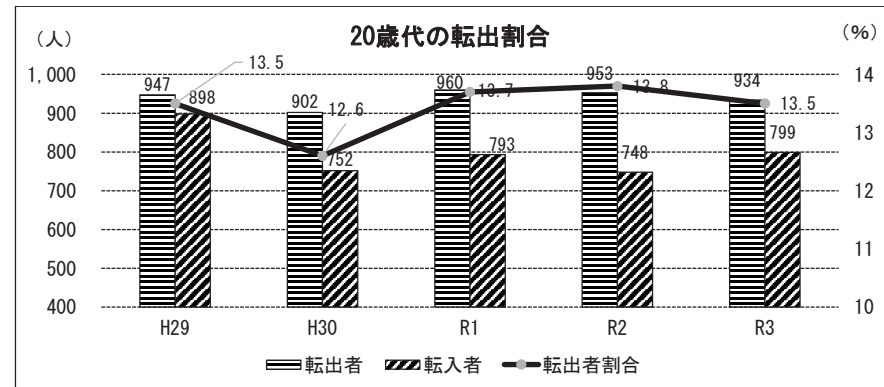
指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
20歳代の転出者割合	12.6%	13.5%	11.6%以下	△

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

令和2年度に比べ、20歳代の転出者割合がやや減少している。更なる若年層の転出抑制を図るための施策が必要である。

#### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

まち・ひと・しごと創生総合戦略等に基づき、若年層を中心とした人口流出を抑えるなど、効果的な施策を推進していく。



具体的施策

(1) 交通利便性や買い物環境の向上に向けたまちづくり

<重要業績評価指標 (KPI)>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	公共交通の整備についての満足度	13.4%	調査未実施	18.4%以上	—

施策の概要	
市内循環バス「MMシャトル」の運行や乗合タクシー「むらタク」の運行を行う。 また、利便性の向上、効率的な運行のため、公共交通の見直しのあり方について検討を行う。	
令和3年度の主な取組内容・実績	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内循環バス「MMシャトル」及び乗合タクシー「むらタク」の継続的な運行</li> <li>○市内循環バス及び乗合タクシーの見直し計画案を作成し、市民説明会及びパブリックコメントを実施</li> <li>○地域公共交通会議での検討等を行い、見直し計画を策定</li> </ul>	
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）	
市内循環バスについては、一部ルートにおいて大きく低迷する1便当たりの利用者数の改善等が課題となる。 乗合タクシーについては、登録者数や利用者数の拡大のための周知等が課題となる。	
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等	
市内循環バスの一部ルートにおいて大きく低迷する1便当たりの利用者数の改善のため、令和4年4月1日から武蔵砂川及び西ルートを廃止し、上北台及び玉川上水ルートの2ルートで運行を行う。なお、廃止した地域を対象として、乗合タクシーの利用登録可能エリアを拡大し、乗降場所を3か所増設して計16か所とする。	

<主な事業とCSF>

①	事業名：乗合タクシー「むらタク」の運行	事業課：交通企画・モノレール推進課
事業の概要		
市内循環バスの利用者数が低迷していた運行ルートを廃止する代替として、市南西地域を対象とした乗合型の交通システムを導入した。 乗合タクシー「むらタク」は、利用者の自宅と市内の主要公共公益施設間を運行している。		
令和3年度の主な取組内容・実績		
○登録者数や利用者数の拡大のため、制度の周知（市報等で広報、出張説明会・利用者登録受付の実施）		
目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）		
登録者数や利用者数の拡大のため、制度のより一層の周知が課題となる。		
課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等		
地区会館や集会所での出張説明会・利用者登録受付を実施し、登録者数や利用者数の拡大に繋げていく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	利用者数	4,028人/年	3,774人/年	4,500人/年	△

②	事業名：まいど～宅配事業	事業課：産業観光課
<b>事業の概要</b>		
<p>買い物弱者対策を目的に、商工会が実施する事業に対し、補助を実施している。          大型店と差別化を図るため、地域商業者が商品の注文配達、出張サービス時に高齢者の安否等の見守り活動を行っている。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○商工会に対し、補助金を交付し、市内小規模商業者の育成と地域社会全般の活性化を図った。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
制度について市民への周知を進め、利用者数の増加につなげる。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
引き続き商工会へ補助金を交付するとともに、制度周知の推進を進める。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	利用者数	2,148 人/年	1,951 人/年	2,200 人/年	△

## (2) 安心して暮らせるまちづくり

### <重要業績評価指標（K P I）>

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
K P I	停電対策用資器材の避難所への備蓄	未実施	28 か所	15 か所	◎

<b>施策の概要</b>					
停電対策用資器材を計画的に購入し、避難所における停電対策の充実を図っていく。					
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>○可搬型蓄電池を備蓄：全避難所（28 か所）</li> <li>○可搬型外部給電器を備蓄：2 基</li> </ul>					
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>					
停電対策用資器材の更なる充実を図るため、電気自動車から電力供給を受けることができるよう可搬型外部給電器を計画的に購入し、備蓄していく。					
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>					
停電対策用資器材の更なる充実を図るため、令和4年度については、可搬型外部給電器を2基購入し、備蓄する。					

<主な事業とCSF>

①	事業名：防災士資格取得助成事業	事業課：防災安全課
<b>事業の概要</b>		
<p>地域防災力の向上を目的とし、自主防災組織に所属し該当団体の長から推薦を受けた者及び消防団において分団長以上の役職経験がある者を対象に防災士資格取得に係る費用を助成する。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○防災士の資格取得に係る費用に対し助成：1名</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>助成制度等について周知しているが、自主防災組織等からの資格取得希望者は少なく、人員の確保が課題である。 今後、助成対象者の拡大等について検討する必要がある。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>引き続き、自主防災組織等に対して助成制度等について広報し、資格取得を促進していく。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	防災士資格取得者数	9人	14人	37人	○

②	事業名：風水害に対する防災訓練	事業課：防災安全課
<b>事業の概要</b>		
<p>台風や短時間豪雨による災害が、各地で頻発していることから、風水害への対応力を強化するため、災害対策本部の運営訓練や地域防災計画、災害時職員行動マニュアルなどの見直しを進める。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○東京都と合同で令和元年台風19号をモデルとした風水害図上訓練を実施 ○地域防災計画を修正 ○避難情報の発令判断・伝達マニュアルを修正</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>訓練を継続して実施すると共に、マニュアル等の見直しを進めていく。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>訓練を継続して実施し、災害対応能力の向上を図る。</p>		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	訓練の実施	未実施	実施	実施	◎

### (3) 健康でいきいきと暮らせるまちづくり

#### <重要業績評価指標（KPI）>

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
KPI	市民の1年間での運動・スポーツ実施率	調査未実施	調査未実施	70%	—

#### 施策の概要

地域の現状や市民ニーズを的確に捉えながら、市民の主体的なスポーツ活動を総合的かつ計画的に推進する。また、スポーツ推進委員協議会等と連携し、地域における各種スポーツ・レクリエーション事業を実施し、市民の健康増進や地域の交流、地域スポーツの振興を図る。

#### 令和3年度の主な取組内容・実績

○イベントは、新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止（駅伝競走大会など）  
○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会機運醸成のため、総合体育館等にのぼり旗等を掲示

#### 目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、安全に事業を運営していく必要がある。

#### 課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等

新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、可能な限り市民のスポーツ実施の機会を創出するとともに、環境を整備していく。

#### <主な事業とCSF>

①	事業名：健康相談	事業課：健康推進課
<b>事業の概要</b>		
健康や栄養に関する相談を随時受け付け、健康管理について指導や助言を行う。 また、骨の状態をチェックし、その結果に基づき生活改善の相談を行う骨健康度相談を実施する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○保健師等による随時相談：160件 ○骨健康度相談の開催：全5回（相談者数：69名）		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
引き続き感染対策を講じた上で実施していく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
感染症等に関する最新情報を課内で共有しながら、相談業務を引き続き実施していく。		

KPI CSF	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
CSF	参加者数	15人/年	229人/年	120人/年	◎



②	事業名：健康教室	事業課：健康推進課
<b>事業の概要</b>		
市民の健康増進と健康管理意識の向上を図ることを目的として、生活習慣病予防等に関する健康教室を開催する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○健康寿命をのばそう教室：18人    ○ヨガ体操教室：22人    ○肩こり腰痛予防教室：11人 ○骨粗しょう症予防教室：24人    ○ピラティス教室：19人    ○ウォーキング教室：11人 ○健康づくり生き活き運動塾：3人		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
健康教室参加者が固定化し、新規参加者が少ない。 働き世代等、新規参加者を増やすため実施時間帯、内容を検討する必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和4年度はヨガ、肩こり腰痛予防教室をそれぞれ1回ずつ夜間実施し、新規参加者の開拓を図る。また、生き活き運動塾は例年申込者が少ない教室であるため、教室名の変更を行いイメージの一新を図る。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	参加者数	211人/年	108人/年	660人/年	△

③	事業名：ゲートキーパーの養成	事業課：健康推進課
<b>事業の概要</b>		
市の自殺防止対策の一環として、相手の心身の不調のサインに気づき、専門機関による相談等に繋ぐ役割を担うゲートキーパー養成講座を開催する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○市内小・中学校教職員向けにゲートキーパー養成講座を実施：参加者16人		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
オンライン開催等、実施方法の検討が必要である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和2年度から専門職を対象に実施している。開催方法を検討しながら令和4年度も引き続き専門職等を対象に実施する。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	ゲートキーパーの養成数	39人/年	16人/年	45人/年	△

④	事業名：総合型地域スポーツクラブの運営支援	事業課：スポーツ振興課
<b>事業の概要</b>		
誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも、世代を超えて各自の興味・目的に応じて気軽にスポーツを楽しめるようなスポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブの運営を支援する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○運営支援のための補助金を交付</li> <li>○活動に対する人的支援を実施</li> <li>○認知度向上等を目的に、ホームページなどに活動内容や活動状況等の広報活動を実施</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
認知度向上等を目的とした周知活動を継続して実施していく。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
引き続き、人的支援、財政支援を行うとともに、認知度向上等を目的とした周知活動をより強化する。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	総合型地域スポーツクラブ 会員数	290人	122人	390人	△

⑤	事業名：スポーツ少年団の運営支援	事業課：スポーツ振興課
<b>事業の概要</b>		
スポーツ少年団の理念のもと、「子供たちの健全育成」、「一人でも多くの子供たちにスポーツの喜びの提供」を目的に、登録する単位団の増加や団員数の増加を目標として活動していく。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症の情報提供など事業運営等に関する支援</li> <li>○スポーツ少年団への加入促進を図るため、市内の少年少女のスポーツ各団体へ通知・説明等を実施</li> </ul>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
加入促進を図るため、継続して市内の少年少女のスポーツ各団体への通知・説明等の実施に努める。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
加入促進を図るため、引き続き市内の少年少女のスポーツ各団体へ通知・説明等を実施していく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	スポーツ少年団登録団体数	1団体	2団体	6団体	○

⑥	事業名：お互いさまサロンの設置・運営支援	事業課：高齢福祉課
<b>事業の概要</b>		
<p>介護予防や多世代間の交流等を目的としたお互いさまサロンづくりのため、設置・運営を行う団体に対し、財政的な支援を行っている。また、各地域包括支援センターにおいては、地域住民に対してサロン設置・運営に係る技術的な支援を行っている。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○設置・運営を行う団体に対して、補助金を交付：41 団体          ○お互いさまサロンの継続的な活動を支援するためポイント付与による交付金制度を実施：40 団体          ○サロン立ち上げの支援や活動内容のアドバイスなど地域包括支援センターとお互いさまサロンの連携</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>令和3年度末時点の実績は、堅調に増加していることから、今後も引き続き、適切な進行管理に努め、目標の達成のために取り組んでいく。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>令和4年度末時点のお互いさまサロン数の目標を64か所と設定していることから、令和4年度には、新規に4か所を設置できるよう事業を継続する。</p>		

K P I	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	お互いさまサロンの設置数	10 か所	60 か所	70 か所	○

⑦	事業名：シルバー人材センターの運営支援	事業課：福祉総務課
<b>事業の概要</b>		
<p>定年退職後の高齢者の多様なニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した臨時的、短期的かつ軽易な就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進による地域社会の活性化を図ることを目的として活動しているシルバー人材センター事業の円滑な実施を図るため、人件費及び運営費等の一部補助や運営資金の貸付を行うもの。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○シルバー人材センターに補助金を交付</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>会員の高齢化が進み、体調不良（病気）や高齢等を理由とする退会が入会者数を上回っている。また、定年後再雇用が社会的に浸透し、60代の若年会員の確保が難しくなっていることに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により従来実施している入会説明会の中止や、緊急事態宣言の長期化による外出自粛により、会員数増強が困難となっている。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>説明会の開催等、引き続き会員の確保に努めていくとともに、研修会により会員の技能習得・向上に努め、講習会等により高齢者でも作業しやすく安全に就業できることをPRしていく。</p>		

K P I	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	登録会員数	1,092 人	1,079 人	1,170 人	△

⑧	事業名：高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的な実施	事業課：保険年金課、高齢福祉課、健康推進課
<b>事業の概要</b>		
高齢者の心身の多様な課題に対応し、きめ細かな支援を実施するため、後期高齢者の保健事業について、介護保険の地域支援事業や国民健康保険の保健事業と一体的に実施する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○具体的にどのような事業を行うのか、対象者をどうするか等、事業の進め方の検討を実施した。 ○事業実施に向け、関係各課及び関係機関と必要な調整を行った。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
令和4年度の事業実施に向け、関係機関との連携や関係各課との調整を進めていく必要がある。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
令和4年度は、事業実施の初年度となるが、糖尿病性腎症等重症化予防事業として、保健指導及び医療機関への受診勧奨を実施する。実施に当たっては関係機関と連携し、円滑な事業運営に努める。また、高齢者の口腔機能維持・向上に向けた事業を実施後、事後評価会議を開催し、次年度に向け改善点を見出す。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	検討	実施	○

⑨	事業名：地域生活支援拠点等整備事業	事業課：障害福祉課
<b>事業の概要</b>		
障害者の重度化・高齢化や親なき後を見据えた、居宅支援のための機能を持つ場所や体制を整備し、障害者が地域で生活できるように支援する。		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
○事業実施に向けて市内事業所3か所と協議を実施した。		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
地域生活支援のための5つの機能を市内の各事業所で分担（面的整備）するため、事業所の協力が必要である。		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
地域生活支援拠点等の整備に向け、事業所と調整を進めていく。		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	検討	実施	○

⑩	事業名：相談支援機能強化事業	事業課：障害福祉課
<b>事業の概要</b>		
<p>障害者からの相談が多様化・専門化する中で、相談支援機能を強化するため、相談支援機関への専門的職員（社会福祉士、保健師、精神保健福祉士など）の配置に努める。</p>		
<b>令和3年度の主な取組内容・実績</b>		
<p>○実施に向けて市内事業所3か所と協議を実施した。</p>		
<b>目標達成への課題（目標を達成している場合は、次のステップの取組や課題など）</b>		
<p>社会福祉士、保健師、精神保健福祉士などの専門員が必要となるため、人件費等を手当てする必要がある。</p>		
<b>課題を踏まえた令和4年度以降の主な取組等</b>		
<p>委託を予定している事業所と実施に向けて協議を行っていく。</p>		

K P I C S F	指標	H30 (現況値)	R3	R6 (目標値)	評価
C S F	事業の実施	未実施	検討	実施	○



# 参 考 资 料





## 第二期まち・ひと・しごと創生総合戦略掲載事業 進捗状況一覧

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)		
基本目標1 まちの魅力を向上させ、新たなひとの流れをつくる		市外からの平日の滞在人口	数値 目標	16,660人	12,640人	13,453人			17,493人	66	1
		市外からの休日の滞在人口		16,951人	11,553人	13,149人			17,799人	66	1
(1) 戦略的な情報発信		市ホームページアクセス数(トップページ)	KPI	276,230件/年	664,850件/年	779,985件/年			500,000件/年	68	1
	①	市ホームページ情報の充実	CSF	18ページ	30ページ	37ページ			30ページ	68	2
	②	「#MM教え隊」市以外からのSNS発信数		409回/年	346回/年	149回/年			600回/年	68	2
	③	SNS等による広報手段の充実		市公式ツイッター「リツイート」数	未実施	629回/年	2,832回/年			1,200件/年	68
市公式フェイスブック「いいね!」件数				817件/年	941回/年	960回/年			1,200件/年	68	2
(2) 創業を希望している市民への支援		創業支援制度を利用した創業者数	KPI	2人/年	3人/年	5人/年			21人/年	69	3
	①	ウィメンズチャレンジプロジェクト	CSF	705人/年	84人/年	346人/年			750人/年	69	3
	②	空き店舗活性化事業への支援		0事業	0事業	0事業			2事業	69	4
(3) 産業の振興と雇用の促進		企業誘致制度を活用した企業誘致による新規就業者数	KPI	0人	4人	0人			10人	70	4
	①	(仮称)産業振興ビジョンの策定	CSF	未策定	アンケート調査	策定			策定	71	5
	②	企業誘致制度の拡充(新青梅街道沿道)		検討	検討	検討			検討終了	71	5
	③	工業地域における道路整備の推進		未実施	未実施	検討			検討	71	6
	④	地域ブランド認証事業		11品目	10品目	10品目			15品目	71	6
	⑤	村山大島紬の振興		251人	92人	32人			300人	71	7

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)			
(4) 時代のニーズに対応する農業の創造		新規就農者数の累計	KPI	1人	3人	3人			6人	72	7	
	①	認定農業者数	CSF	39経営体	40経営体	40経営体			45経営体	72	8	
	②	観光農園の充実		観光農園数	10か所	10か所	10か所			11か所	72	8
	③	体験型市民農園の開設		体験型市民農園数	2か所	2か所	2か所			3か所	72	9
	④	援農ボランティア制度		援農ボランティアの登録者数	13人	17人	14人			25人	73	9
(5) 個性豊かな観光施策の推進		村山温泉「かたくりの湯」の入場者数	KPI	158,958人/年	68,139人/年	90,621人/年			203,000人/年	74	10	
	①	村山温泉「かたくりの湯」周辺を核とした交流エリアの形成	CSF	観光ルート（広域含む）の設定	未設定	2ルート	2ルート			5ルート	75	10
	②	観光マップの作成		観光マップの多言語化	未実施	検討	検討			実施	75	11
	③	武蔵村山魅力マイスターの活動		登録人数	25人	25人	17人			35人	75	11
	④	ロケーションサービス		受入件数	未実施	6件	11件			50件	75	12
	⑤	文化財の観光資源としての活用		市民参加による歴史散策コースの設定	2コース	7コース	7コース			4コース	75	12
	⑥	市民まつり（村山デエダラまつり）の開催		来場者数	70,000人/年	未開催	未開催			80,000人/年	75	13
	⑦	観光納涼花火大会の開催支援		会場来場者数	14,000人/年	未開催	未開催			15,000人/年	75	13
(6) 利便性の高い公共交通網の形成		市内循環バス「MMシャトル」路線の1便当たり平均輸送人員		KPI	5.61人/年	3.45人/年	3.97人/年			6.11人/年	76	14
	①	多摩都市モノレールの市内延伸の促進	事業の推進	CSF	推進	推進	推進		推進	76	14	
(7) にぎわいと活力のある魅力的なまち・まちづくり		都市核地区土地区画整理事業施行地区内の新青梅街道拡幅用地の確保	KPI	90%	97%	100%			100%	77	15	
	①	新青梅街道沿道の用途地域等の変更及び地区計画の策定	CSF	1件	2件	4件			4件	77	15	

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)		
②	立川都市計画道路3・4・39号線整備事業	拡幅整備	CSF	推進	推進	推進			工事着工	77	16
基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	合計特殊出生率		数値 目標	1.55	1.37	1.37 (R2実績)			1.60	81	16
	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」人の割合			72.1%	調査未実施	調査未実施			80%以上	81	16
(1) 結婚・妊娠・出産・子育てへの支援	認可保育所の入所待機児童数		KPI	39人	37人	18人			0人	83	17
①	地域型保育事業	実施事業所数	CSF	未実施	検討	準備中			1か所	84	17
②	延長保育の充実	延長保育の実施保育所数		11か所	11か所	11か所			13か所	84	18
③	休日保育事業	休日保育の実施保育所数(日曜日・祝日の保育)		未実施	1か所	1か所			1か所	84	18
④	病児・病後児保育事業	延べ利用者数	CSF	234件/年	88件/年	311件/年			550件/年	84	19
⑤	子育て世代包括支援センター(ハグはぐ・むらやま)	保健師等による全ての子育て家庭に対する面談率		100%	100%	100%			100%	84	19
⑥	予防接種情報システムの運用	登録者数		316件/年	330件/年	275件/年			350件/年	84	20
⑦	市民、事業所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	ワーク・ライフ・バランス推進事業所の認定件数		0件	0件	7件			5件	84	20
⑧	市役所男性職員の育児休業取得率の向上	取得率(5か年平均)		CSF	5.5%	20.5%	36.6%			15.0%	84
(2) 子育てしやすいまちづくり	「武蔵村山市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思ふ」就学前児童の保護者の割合		KPI	72.8%	調査未実施	調査未実施			77.8%	85	21
①	移動式赤ちゃんの駅の活用	地域イベント等での活用	CSF	5件/年	1件/年	1件/年			10件/年	86	22
②	児童館親子ひろば事業(絵本読み聞かせ・みんなであそぼう)	絵本の読み聞かせ等実施回数及び参加者数		46回/年 1,037人/年	46回/年 1,078人/年	48回/年 1,002人/年			48回/年 1,200人/年	86	22
③	絵本読み聞かせ事業(図書館のおはなしの会)	絵本の読み聞かせ実施回数及び参加者数		114回/年 1,014人/年	48回/年 163人/年	25回/年 120人/年			120回/年 1,200人/年	86	23
④	放課後子供教室の充実	放課後子供教室実施校数		7校	7校	7校			9校	86	23

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)			
⑤	放課後子ども総合プラン 事業の推進	一体型の運営を行う学童 クラブ及び放課後子供教 室の設置数	CSF	4か所	5か所	5か所			5か所	86	24	
	⑥	子どもの未来応援プラン の策定及び推進		将来のゆめが「ある」と 回答した児童・生徒の割 合	小5：77.1% 中2：57.9%	調査未実施	調査未実施			小5：80.0% 中2：62.0%	86	24
(3)	子どもの知力・体力の向上	高校進学に際して第一志 望校へ合格する割合	KPI	83.2%	88.6%	92.2%			85.0%	87	25	
①	市学力調査	中学校1年生の国語の平 均正答率と全国平均正答 率との相対比率	CSF	91.6%	未実施	92.9%			100.0%	87	25	
	②	英語検定		中学校3年生の受験率	40.6%	39.2%	37.9%			60.0%	87	26
	③	東京都統一体力テスト		小学校5年生のシャトル ランの平均値(回数)	男子49.2回 女子36.9回	調査一部未実施	男子38.7回 女子31.5回			男子51回 女子40回	87	26
				中学校2年生の持久走(男子 1,500m)、(女子1,000m)の 平均値(秒数)	男子395.6秒 女子295.6秒	調査一部未実施	男子395.7秒 女子295.6秒			男子386秒 女子286秒	87	26
(4)	教育環境の整備	不登校児童・生徒への教 育相談等支援率	KPI	75%	67.1%	48.9%			80%	88	27	
①	教育相談室事業・スクー ルソーシャルワーカー事 業	不登校出現率	CSF	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年			小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	27	
	②	スクールカウンセラーの 配置	不登校出現率	小学校：0.79%/年 中学校：5.05%/年	小学校：0.92%/年 中学校：5.28%/年	小学校1.15%/年 中学校6.27%/年			小学校：0.54%/年 中学校：3.24%/年	88	28	
基本目標3 誰もが安心して暮らし続けられる地域をつ くる		これからも本市に住み続 けたいと思う人の割合	数値 目標	31.1%	調査未実施	調査未実施			36.1%	91	28	
		20歳代の転出者割合		12.6%	13.8%	13.5%			11.6%以下	91	28	
(1)	交通利便性や買い物環境の向上 に向けたまちづくり	公共交通の整備について の満足度	KPI	13.4%	調査未実施	調査未実施			18.4%以上	92	29	
①	乗合タクシー「むらた く」の運行	利用者数	CSF	4,028人/年	2,979人/年	3,774人/年			4,500人/年	92	29	
	②	まいど～宅配事業		利用者数	2,148人/年	2,001人/年	1,951人/年			2,200人/年	92	30
(2)	安心して暮らせるまちづくり	停電対策用資器材の避難 所への備蓄	KPI	未実施	15か所	28か所			15か所	93	30	
①	防災士資格取得助成事業	防災士資格取得者数	CSF	9人	13人	14人			37人	94	31	

基本目標 具体的施策	指標			KPI・CSF						総合戦略 ページ	本編ページ	
	事業名称	指標	種類	H30 (現況値)	R2	R3	R4	R5	R6 (目標値)			
	②	風水害に対する防災訓練	訓練の実施	CSF	未実施	実施	実施			実施	94	31
(3) 健康でいきいきと暮らせる まちづくり			市民の1年間での運動・ スポーツ実施率	KPI	集計調査未実施	61.9%	調査未実施			70%	95	32
	①	健康相談	参加者数	CSF	15人/年	209人/年	229人/年			120人/年	96	32
	②	健康教室	参加者数		211人/年	97人/年	108人/年			660人/年	96	33
	③	ゲートキーパーの養成	ゲートキーパーの養成数		39人/年	18人/年	16人/年			45人/年	96	33
	④	総合型地域スポーツクラブの運営支援	総合型地域スポーツクラブ 会員数		290人	143人	122人			390人	96	34
	⑤	スポーツ少年団の運営支援	スポーツ少年団登録団体 数		1団体	2団体	2団体			6団体	96	34
	⑥	お互いさまサロンの設置・運営支援	お互いさまサロンの設置 数	CSF	10か所	56か所	60か所			70か所	96	35
	⑦	シルバー人材センターの運営支援	登録会員数		1,092人	1,083人	1,079人			1,170人	96	35
	⑧	高齢者の保健事業と介護 予防事業の一体的な実施	事業の実施		未実施	検討	検討			実施	96	36
	⑨	地域生活支援拠点等整備 事業	事業の実施		未実施	検討	検討			実施	96	36
⑩	相談支援機能強化事業	事業の実施	未実施		検討	検討			実施	96	37	

第二期武蔵村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略実績報告書（令和3年度）に係る事前質問及び回答

No.	実績報告ページ	事業名称等	所管課	質問事項等	回答
1	2	SNS等による広報手段の充実について	秘書広報課	情報発信の基準や考え方はどうなっていますか。 また、目標値が少ないように感じますが目標値の設定の考え方を教えてください。	情報発信については、武蔵村山市公式ツイッターアカウント及び公式フェイスブックページ運用ポリシーに基づき、市広報及び市ホームページに加え、情報伝達の即時性と拡散性に優れた特性をいかし、情報発信を行っている。 目標値の設定については、過去の実績をもとに伸び率等を考慮し設定した。
2	6	地域認証ブランド承認事業について	産業観光課	認証の基準と目的について。	【基準】 ○市内で生産、加工等をされた商品又は市に特徴的に見られる素材、製法等を用いた商品である。 ○他の地域に対して優位性又は独自性を打ち出せる要素を持っていること。 ○名称、意匠又は材料が武蔵村山市にちなんだ要素を持っていること。 など 【目的】 市内にある魅力ある商品を認証し、これを広く他の地域に発信し、及び供給してブランドイメージの定着及び向上を図ることにより、市の活性化と魅力の向上に資する。
3	6	地域認証ブランド承認事業について	産業観光課	認証を受けた場合の現在のメリットについて。	市ホームページ等で紹介されるほか、以下の補助金を受けられる。 ○開発事業補助金：商品の開発に要した費用（機器等の購入費、試作品の原材料費等）の一部を補助する。 ○普及促進事業補助金：商品の広告宣伝に係る費用（チラシ等の作成、通信販売のシステム構築費等）の一部を補助する。
4	7,9	農業について	産業観光課	農地を守り食料自給率を高めるため、新規就農者の育成については、個人だけではなく法人の就農を推進する必要があると考えるが市の認識は。	農業法人の参入については、現時点では推進する必要性はないと考えているが、今後、他の自治体の動向や農地所有者の意向を確認しながら、法人の参入等についても検討していきたいと考えている。
5	7,9	農業について	産業観光課	体験型市民農園の増設が進まない理由と課題について。	体験型市民農園は、農家が自ら指導を行うことで、市民のレクリエーションを創出する形式であるため、現役の農業者では開設が困難である。このため、開設に当たった際の交渉に当たる農業者の選定が課題となっている。
6	10	かたくりの湯について	産業観光課	今年度に契約期間が終了するようだが、次の指定管理者選定の方法について。	次期指定管理者については、公募によるプロポーザル方式で募集を行い、業者決定をしたいと考えている。
7	10	かたくりの湯について	産業観光課	R5年度に大規模改修する予定となっているが、大規模改修にあたっての方針と考え方について。	令和元年度に行った劣化診断に基づき大規模改修を行いたいと考えている。併せて、限度額を定めた上で次期指定管理者からの提案に基づいた改修についても考えていきたい。

No.	実績報告ページ	事業名称等	所管課	質問事項等	回答
8	14	市内循環バスとむらタクについて	交通企画・モノレール推進課	4月に市内循環バスの1路線廃止とむらタクの利用範囲の拡大が行われたが、その経過についてとむらタクの今後の活用方法について。	武蔵砂川及び西ルートの2ルートについては、利用者が少なく、1便当たりの利用者数はバス車両では供給過多の状態にあった。今まで継続して運行をしてきたが、社会情勢も変更しており、利用実態や市民・利用者の意向を踏まえた上で、運行内容の見直しを行った。 むらタクについては、利用登録可能範囲の拡大、乗降場所の増設、車両の増車により、令和4年4月以降、月700人前後の利用がある。また、70代、80代の利用者が多く、自宅前まで迎えに来る点は大変助かるという声をいただいている。さらに幅広い年代に利用いただけるよう、出前講座の活用や利用者登録出張受付を行い、登録者数及び利用者数の拡大に繋げていく予定である。
9	14, 15	モノレールの延伸とまちづくりについて	交通企画・モノレール推進課	モノレール延伸開業の時期についての市の想定と目標について。	多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸については、本年2月の都知事の施政方針において、「令和4年度に都市計画等の手続きに着手する」と発言があり、一定の進捗が期待されているが、開業の時期については、未定である。
10	14, 15	モノレールの延伸とまちづくりについて	交通企画・モノレール推進課	モノレール延伸のまちづくりについての市の目指す方針と市民と事業者との意見集約の方法についてどう考えているか。	モノレール延伸後を見据えたまちづくりについては、平成30年に策定した「モノレール沿線まちづくり構想」に基づき、地域のポテンシャル（潜在的な力）を最大限に発揮するためのまちづくりを目指している。モノレールの延伸・駅位置が公表された後は、説明会やワークショップ等を開催し、市民等の意見を取り入れていく予定である。
11	16	結婚・出産・子育てについて	子ども青少年課企画政策課	全国1位の人口増加率と出生率向上を誇る明石市のように、子どもに関する行政サービスを可能な限り無料化することによって、人口増加や出生率向上に繋げ、地域経済の活性化を実現している自治体がある。 是非、当市においても子育て教育予算を大幅増額させる施策が必要と考えているが、まずは明石市の施策を調査研究していただき、当市も参考にして欲しいが市の考えを伺う。	本市においては、子育て支援の充実を図るため、令和4年度には市独自の給付金（児童手当特例給付世帯等給付金及び子育て世帯臨時支援給付金）を支給している。また、今後、医療費助成事業の対象を高校生等まで拡充することを検討していく。
12	27	不登校の児童生徒について	教育指導課	不登校児童生徒の教育相談支援率が大きく下がった理由について。	教育指導課が所管している教育相談室等での支援率を表しており、外部機関での支援は除いている。令和元年度は47.6%、2年度は60.5%、3年度48.9%と推移している。様々な機関で支援が行われているが、家庭の理解が得られない場合もあるため。
13	27	不登校の児童生徒について	教育指導課	不登校出現率が増えた理由について。	不登校児童・生徒数は年々増加しており、様々な要因があるため、ひとくくり理由を説明できない。不登校の主な要因には無気力、学習への不安、家庭に起因する問題等が多い。
14	27	不登校の児童生徒について	教育指導課	第五中学校にだけスクールカウンセラーを2名配置した理由について。	令和元年度に、東京都より相談体制の強化を図るためSCの追加配置調査があり、生徒数及び不登校数が多い第五中への申請を希望したところ、受理されたため。

No.	実績報告 ページ	事業名称等	所管課	質問事項等	回答
15	35	お互いさまサロンについて	高齢福祉課	設置数が順調に増えているようですが、地域により偏在がみられます。設置が少ない地域への設置支援についてはどう考えているか。	偏在の理由として「活動場所の確保が困難であること」が挙げられる。既存の公園・集会所・公共施設のほか、ご協力いただける個人宅や事業所の空きスペースなど、引き続き積極的な活動場所の確保を行い、当該地域でのサロン活動がしやすくなるよう努める。
16	35	お互いさまサロンについて	高齢福祉課	現状は高齢者中心だが、今後は多世代が利用できるサロンにする考えはあるか。	本市では「子どもからお年寄りまで だれもが垣根なく「お互いさま」でつながるまちづくり」を目標に、お互いさまサロンづくりを進めている。現在は3か所の多世代交流のサロンが活動しているが、今後も引き続き、当該目標に沿ったサロンづくりに取り組む。